

## 佐賀空港の自衛隊使用要請に関する主な経緯

2014 (H26) 年	
7月22日	防衛省(武田副大臣)から県に対して要請
2015 (H27) 年	
2月13日	左藤防衛副大臣が山口知事を訪問、説明 〔山口知事からの要請〕 → ・計画の全体像や将来像の明確化
10月29日	中谷防衛大臣が山口知事を訪問、説明 ・計画の全体像・将来像について説明・米海兵隊の利用要請は取り下げ
2016 (H28) 年	
6月3日	若宮防衛副大臣が山口知事を訪問、施設の場所や配置案等を説明
2017 (H29) 年	
5月30日	「佐賀空港の自衛隊使用要請に関する論点整理素案」の公表
7月3日	県議会決議 (佐賀空港の陸上自衛隊配備に関する決議)
2018 (H30) 年	
7月23日	小野寺防衛大臣が山口知事を訪問、説明 〔「オスプレイの機体の安全性及び安全対策の方向性」について説明〕
8月24日	① 小野寺大臣が山口知事を訪問、県と防衛省との合意文書を確認 ② 県としての判断 〔「防衛省からの要請を受け入れ、公害防止協定覚書付属資料の変更に ついて有明海漁協と協議をさせていただく」〕 ③ 山口知事が有明海漁協を訪問、協議を申し入れ
2019 (H31、R1) 年	
5月24日	山口知事が有明海漁協を訪問(検討委員会で説明)、改めて変更協議を申し入れ
8月9日	防衛省が有明海漁協へ説明 〔・計画の概要、排水対策などの環境保全対策などについて説明〕
9月17日～	防衛省が漁協支所での説明を開始(～令和2年6月3日)
11月26日	山口知事が有明海漁協組合長を訪問
2020 (R2) 年	
7月8日	山口知事が有明海漁協西久保組合長を訪問
9月10日	有明海漁協が検討委員会を開催 〔・防衛省が地権者に対して説明を行い、地権者の意向を確認した上で漁協 として判断することを決定〕
2021 (R3) 年	
6月30日～ 7月4日	防衛省が関係4支所(南川副、早津江、大詫間、広江)の地権者に対して地権者説明会を開催 → アンケート実施(結果:売却可 29% 条件次第で売却可 43% 計 72%)
11月30日	有明海漁協が検討委員会を開催 〔・覚書付属資料の変更に、条件付きで応じるとの方向性を決定〕
12月14日	有明海漁協の西久保組合長が知事を訪問、県からの覚書付属資料の変更申し入れに対する漁協からの回答文書を手交
12月22日	山口知事が岸防衛大臣を訪問、漁協の判断や思いを伝え、真摯な対応を要請
2022 (R4) 年	
1月28日～	有明海漁協、防衛省、県の三者の実務担当者による排水対策等の3条件に関する意見交換会を開催(第1回)(～6月6日 計4回開催)
8月25日～	九州防衛局が公害防止協定締結時の当事者であった漁協6支所(諸富町、早津江、大詫間、南川副、広江、東与賀町)の組合員への説明会を開催(～9月1日)
10月24日	有明海漁協が6支所合同会議を開催(山口知事出席) 〔・有明海再生に対する想い、国防の大切さを説明するとともに、排水対策について県の考えを説明〕
11月1日	有明海漁協が検討委員会を開催(覚書付属資料の変更を決定) 有明海漁協の西久保組合長が知事を訪問し、県からの覚書付属資料の変更申し入れを受け入れる旨の回答文書を手交、両者が確認書に署名押印